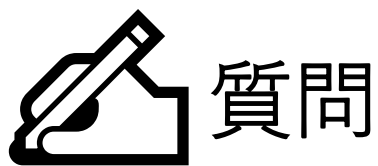


くずし字で

古典を讀んでみよう



質問

右のAとBは、いずれも『平家物語』の有名な冒頭部の文章です。
皆さん、どちらのほうが読めますか？

Aのほうが漢字があるから読みやすい、と感じた人が多いのではないのでしょうか？

実はBはほとんど平仮名で書かれているのですが、変体仮名（くずし字）であるため、現代の私たちには非常に読みづらく感じますね。

大学の古典研究では、この変体仮名（くずし字）を学び、江戸時代以前に作られた和書を解読しながら、じっくりと作品と向き合います。

A

祇園精舎ノ鐘ノ聲諸行無常ノ響アリ沙羅雙樹ノ花
ノ色盛者必衰ノ理ノ顯ス

B

きねんまがうしやれみづるの
聲れむと見ありはらまうまもれ
るの
まがうしやれみづるの
まがうしやれみづるの

漢字

漢籍により伝来

公家・僧などの
知識層が使用

* 表意文字

安

万葉仮名

漢字の音を用い、
日本語の音を表
現する

* 借字

阿

カタカナ

漢字の一部から
考案

漢文訓読のため
の音声表記

* 表音文字

ア

ひらがな

漢字の草書体から
誕生

変体仮名

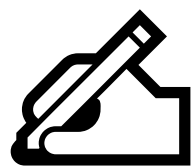
* 表音文字

あ

ひらがな（平仮名）は、
漢字の草書体から作られました。
例えば「あ」には「安」「阿」「愛」
などの漢字をもとにくずした字が使われて
いました（もとになった漢字を「字母」といいます）。
このようにくずした字を「くずし字」といい、現在使われない
ひらがなを「変体仮名」といいます。

「変体仮名」は明治33年に現在の一音一字のひらがなに定められるまで使われていました。

それでは、実際に大学の授業で扱っているテキストを読んでみましょう。



チャレンジ

右の文章は何と書いてあるでしょうか？

『徒然草』の一節ですよ



国文学研究資料館蔵『絵本徒然草』（版本）

冒頭部分のくずし字を詳しく見てみましょう。

() で示したのは、変体仮名のもとになった漢字（字母）です。

し (之)

か (可)

ず (春)

色

欲

に (尔)

は (八)

心

ま (末)

ど (止)

は (八)

す (春)

事

世

の (乃)

人

の (能)

では、全文の解読にチャレンジしてみましよう。
字をただ眺めるのではなく、意味を考えながら読むことが大切です。

世の人にはまじりて事一色録、
一もく米の伝人乃おのり
世のこまじりて事一色録、

はこみ
のん
のん
のん
のん

の
の
の
の

の
の
の



変体仮名は
一音一字では
ないぞ

世の人の心まどはす事、色欲には
 しかず。久米の仙人の、物あらふ
 女のくぎの白きを見て、
 女のくぎの白きを見て

通をうしなひけんは、
 通をうしなひけんは、

はくま

まことに

ふん

手・足

くぎ

はだへ

なんどの



米こめぶらぶら

きよらに

肥こまわぶらぶら

肥、あぶらぶら

くこん

たらんは、

外そとの色

き

きぬ

ならねば、

さ

さも

わん

しこ

あらんかし



『今昔物語集』の話では
私と久米仙人は夫婦に
なるんですよ！

…いかがでしたか？

くずし字を解読するのはとても難しく思えるかもしれませんが、大学の授業でさまざまな和書に触れていくと、少しずつ読めるようになりますよ。

**和書から広がる古典の世界を
一緒に学んでみませんか？**

日文研究室でお待ちしています